

講義科目名称： 疾病治療論 I (内科)

授業コード： 53200400

英文科目名称： Principles & Theory of Treatment I (Internal Medicine)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	3	必修
担当教員			
寺田 信行、野々木 宏、福田 能啓、各務 慎一			
月4 水4 木1 金1			
添付ファイル			

科目の概要	専門基礎科目として内科的疾患について系統別に概説する。
授業の内容	<p>第1回 腎・泌尿器①(野々木)【1】 脳卒中・循環器疾患の概説、対策基本法を理解する (腎不全、ネフローゼ症候群)</p> <p>第2回 腎・泌尿器②(野々木)【2】 (糸球体腎炎、腎障害)、尿路疾患</p> <p>第3回 循環器①(野々木)【3】 虚血性心疾患(狭心症、急性心筋梗塞)</p> <p>第4回 循環器②(野々木)【4】 心不全(右心・左心不全)、心不全治療</p> <p>第5回 循環器③(野々木)【5】 高血圧症、不整脈</p> <p>第6回 アレルギー、膠原病①(寺田)【1】 SLE、RA、Sjogren、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫</p> <p>第7回 循環器④(野々木)【6】 その他の心疾患・血管疾患</p> <p>第8回 アレルギー、膠原病②(寺田)【2】 SLE、RA、Sjogren、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫</p> <p>第9回 脳・神経①(野々木)【7】 脳血管障害(脳出血、脳梗塞)</p> <p>第10回 アレルギー、膠原病③(寺田)【3】 SLE、RA、Sjogren、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫</p> <p>第11回 脳・神経②(野々木)【8】 脳腫瘍、頭部外傷、髄液異常</p> <p>第12回 内分泌、代謝、消化器①(福田)【1】 メタボリックシンドローム、肥満、糖尿病、脂質異常症、高尿酸結晶と痛風、消化管の炎症と潰瘍、消化管の腫瘍、イレウス、腹壁、腹膜、横隔膜の疾患、肝臓、胆嚢、膵臓の炎症、肝硬変、肝臓、胆嚢、膵臓の腫瘍、肝不全、胆汁代謝、排泄の障害</p> <p>第13回 脳・神経③(野々木)【9】 脊髄疾患・末梢神経障害(ギラン・バレー)、筋・神経筋接合部疾患(筋ジストロフィー)</p> <p>第14回 内分泌、代謝、消化器②(福田)【2】 メタボリックシンドローム、肥満、糖尿病、脂質異常症、高尿酸結晶と痛風、消化管の炎症と潰瘍、消化管の腫瘍、イレウス、腹壁、腹膜、横隔膜の疾患、肝臓、胆嚢、膵臓の炎症、肝硬変、肝臓、胆嚢、膵臓の腫瘍、肝不全、胆汁代謝、排泄の障害</p> <p>第15回 脳・神経④(野々木)【10】 脱髄・変性疾患(パーキンソン病、ALS)、その他(感染・中毒・てんかん・認知症)</p> <p>第16回 内分泌、代謝、消化器③(福田)【3】 メタボリックシンドローム、肥満、糖尿病、脂質異常症、高尿酸結晶と痛風、消化管の炎症と潰瘍、消化管の腫瘍、イレウス、腹壁、腹膜、横隔膜の疾患、肝臓、胆嚢、膵臓の炎症、肝硬変、肝臓、胆嚢、膵臓の腫瘍、肝不全、胆汁代謝、排泄の障害</p> <p>第17回 呼吸器①(各務)【1】 気道、肺の疾患、肺循環障害(肺梗塞、肺塞栓症)、肺腫瘍(癌、中皮腫)</p> <p>第18回 内分泌、代謝、消化器④(福田)【4】 メタボリックシンドローム、肥満、糖尿病、脂質異常症、高尿酸結晶と痛風、消化管の炎症と潰瘍、消化管の腫瘍、イレウス、腹壁、腹膜、横隔膜の疾患、肝臓、胆嚢、膵臓の炎症、肝硬変、肝臓、胆嚢、膵臓の腫瘍、肝不全、胆汁代謝、排泄の障害</p> <p>第19回 呼吸器②(各務)【2】 気道、肺の疾患、肺循環障害(肺梗塞、肺塞栓症)、肺腫瘍(癌、中皮腫)</p> <p>第20回 内分泌、代謝、消化器⑤(福田)【5】 メタボリックシンドローム、肥満、糖尿病、脂質異常症、高尿酸結晶と痛風、消化管の炎症と潰瘍、消化管の腫瘍、イレウス、腹壁、腹膜、横隔膜の疾患、肝臓、胆嚢、膵臓の炎症、肝硬変、肝臓、胆嚢、膵臓の腫瘍、肝不全、胆汁代謝、排泄の障害</p>

	<p>第21回 呼吸器③（各務）【3】 気道、肺の疾患、肺循環障害（肺梗塞、肺塞栓症）、肺腫瘍（癌、中皮腫）</p> <p>第22回 内分泌、代謝、消化器⑥（福田）【6】 メタボリックシンドローム、肥満、糖尿病、脂質異常症、高尿酸結晶と痛風、消化管の炎症と潰瘍、消化管の腫瘍、イレウス、腹壁、腹膜、横隔膜の疾患、肝臓、胆嚢、膵臓の炎症、肝硬変、肝臓、胆嚢、膵臓の腫瘍、肝不全、胆汁代謝、排泄の障害</p> <p>第23回 呼吸器④（各務）【4】 気道、肺の疾患、肺循環障害（肺梗塞、肺塞栓症）、肺腫瘍（癌、中皮腫）</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	講義で取り上げる疾患の病態生理を述べることができる。 診断方法、治療方法について述べることができる。
授業の方法	講義
成績評価の方法	中間試験50% 定期試験50%
教科書・テキスト	教科書：系統看護学講座 成人看護学 第14版 2～6, 7～8, 10～11 医学書院
参考書	適宜紹介する
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	解剖生理学を復習しておくこと。テキストを熟読し、予習復習を丁寧に行うこと。
履修上の留意事項	テキストを忘れず持参すること
オフィスアワー	非常勤講師室にて授業終了後に対応
課題に対するフィードバックの方法	授業終了後に教室にて質問可能
実務経験	医師
その他	